

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表：令和4年 2月 10日

事業所名：たにやまたんぽぽ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		新しい建物に移転し、集団にも対応できる広いスペースや個別指導用のスペースなど以前より活動スペースを多く確保することができている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		療育内容や利用時の状況に応じ、個々にあつた職員体制を整えてい	る。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○		移転により園と共同で使用してた車椅子専用のトイレがなくなり、段差のある出入り口もあるため、今後改善できるところはしていかたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		朝夕掃除・安全確認に加え、利用時間が入れ替わるごとに換気、使用した教材の消毒など細目に行ってい	る。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		指導後や職員会議の中で、現状と目標を検討し、改善に努めている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		要求があり次第、早急に面談を行い、改善に努めている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		定期的に自己評価の結果をホームページで公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者評価の実施できる体制を整え、日々のサービス提供、業務改善へつなげていく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		他事業所の見学やリモートによる研修会の参加などコロナウイルスの感染予防にも努めながら、できる範囲での情報交換を行っている。	例年は積極的に研修等に参加する機会を多く設けていたが、コロナウイルス感染予防のため、オンライン研修会等への参加を検討している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		相談支援専門職員との情報交換、共有を図り、利用時の状態、保護者の意見などを通し、得られたニーズに沿った支援計画の作成に努めている。	利用児の状態や年齢に応じ、必要な支援・目標を設定し、今後を見据えた支援をしていく。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		行動観察によるアセスメントツールを使い、状態を把握している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		児童発達支援計画検討会議では、児童発達支援責任者を中心として、児童発達支援ガイドラインに示してある項目を確認しながら、利用児に合った支援計画を共有している。	児童発達支援ガイドラインの内容については、不十分な部分を感じるところもあるが、職員間で共有しながら理解を深めていく必要がある。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		利用児一人ひとりの支援計画に基づき、職員・ご家族での共通理解を図り、支援を行っていくよう努めている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		担任や担当を決めず、チームで利用児を把握し、支援計画を作成している。	
適切な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		目標を設定した中で、担任や担当を決めず、様々な指導を行うことで、固定化されないようにしている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		利用児の実態に応じて個別療育・集団療育を組み合わせて行っている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		職員同士で担当すべき内容を決め、適切な指導ができるようにしている。	利用児の状態に合わせて、支援内容を検討し、個別や集団指導を行うようになる。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		終了後、利用時の状態や支援内容の確認・報告を職員間で行い、次の指導で必要な点の打ち合わせを行っている。	利用時の状態を職員間で情報共有し、個々に合った教材の選択や活動に繋げていく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援内容、状態の記録は徹底して行っており、職員間で利用児の個々の状態や指導内容を共有している。	職員が個々の状態をしっかり把握できるように記録は詳細に記述し、支援記録をもとに児童発達支援計画検討会議での資料として活用し、適宜、計画の検討、改善のできる体制を継続していく。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		保護者との情報交換を行い、今後の支援に必要な内容を検討している。他事業所とも積極的に連絡を取り、情報交換を行っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		利用児の状態や今後の支援内容を把握できている者が参加している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		利用児の関係機関と連絡を取りながら、支援内容を検討している。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		並行利用している園と必要に応じて情報の共有を行っている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行支援シートを活用している。必要に応じて連絡を取り合うことのできる体制をとっている。	コロナの影響があり、幼少連絡会への参加が難しかったため、参加する園の職員へ情報を細かく伝えるようにしている。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		子ども療育センター等と情報共有しながら支援を行っている。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		通園経験のない利用児は、園とご家庭に相談し、必要に応じて園児と交流機会を設けるようにしている。	個別指導を中心として行っている為、事業所としての交流や活動は行っていない。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		新型コロナウイルス関連の影響で、参加が難しい。
	30 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		保護者に見学に来て頂き、実際の指導を見ながら子どもの情報を伝えられるようにしている。	新型コロナウイルスの影響で見学が難しい場合もあるため、電話連絡にて様子を伝えるようにしている。
保護者への説明責任等	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		電話やメールでも保護者の相談へ対応し、家庭内での支援ポイントや今後の見通し等を話している。	保護者(ご家族)に対し、ペアレント・トレーニングの研修案内等の配布を行っていく。
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		児童発達支援計画をお渡しする際、「児童発達ガイドライン」を必ずお渡ししている。また、児童発達支援計画はガイドライン項目も記載されている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		面談だけではなく、メールや電話を利用しながら迅速に対応できるようにしている。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		新型コロナウイルスの影響で保護者同士の交流が難しいが、今後も必要に応じて保護者同士が情報共有できる場を設けていくようとする。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談・苦情受付窓口や担当者を掲示している。それぞれの対応についてはマニュアルを整備し、職員間の理解を図りながら対応している。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		個別療育が主体であり、個々にあった指導や活動を行っている為、行事は行っていない。従って活動概要などは発信していない。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		プライバシーの配慮等、職員への周知徹底や、保護者に対して契約書に記載している。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚的アプローチによる支援を行うことや、行動観察により、利用児にあった支援を行っている。また、保護者に見学に来て頂き、実際の指導を見て頂きながら子どもの情報を伝えられるようにしている。	新型コロナウイルスにより見学が難しい場合は、電話連絡にて伝えるようにしている。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		個別指導を中心として行っているため、地域の方を招待する等の行事は計画していない。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各種マニュアルを整備し、職員への周知を図っている。	移転により、隣接していた園から距離ができたため、マニュアルを見直し、学園内で情報共有するようにしている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		園の避難訓練の様子を情報共有し、また事業所内でも時間を設け、訓練するようになっている。	園外の利用児に対しては、事前に避難訓練を行う旨を保護者へお伝えし、訓練後に利用児の様子等、連絡するようにしている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		面談や利用計画書で確認している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		事業所では食事等の提供は行っていないが、保護者からの情報を職員間で共有している。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		記入用紙を作成し、設置している。通所記録用紙にも記入欄を設けている。	実際にヒヤリハットの記入はないが、今後ヒヤリハット事例集を作成し共通理解を図っていく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		例年は研修会へ参加していたが、新型コロナウィルス関連の影響もあり、参加が難しい。リモート等での研修には参加ていきたい。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			職員間での周知徹底は行っている。現状としては身体拘束が必要な児童の利用がない為、計画には記載していない。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)